

[専門教育科目/公衆衛生看護学]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
公衆衛生看護学概論 I	NSP21_006	必修	1	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
山崎 洋子	301	y.yamazaki	月曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	地域生活集団を対象とした公衆衛生看護学の理念、目的、活動方法の概要を学ぶ。自分自身の生活・健康・環境と公衆衛生看護活動との関連を考え、健康な日常生活を支援し、ヘルスケアシステムの中で機能する予防的な看護活動を理解する。また、公衆衛生看護の展開に必要な援助技術を学ぶ。				
学習上の助言	主体的に授業、演習に参加できるように事前学習に取り組むこと。				
教科書	最新 公衆衛生看護学 第3版/2019年版/編:宮崎美砂子 他/日本看護協会出版会				
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生看護学(第2版)/編:上野昌江 他/中央法規出版/2016 ・看護法令要覧 最新版/編:勝又浜子 他/日本看護協会出版会 ・公衆衛生がみえる 2020-2021/メディックメディア ・厚生指 増刊 国民衛生の動向 2020/2021/厚生労働統計協会 				
① 個人・家族・地域など地域生活集団の構成を理解し、生活と健康との関連を説明することができる。			関連卒業認定・学位授与方針		
② 公衆衛生看護を定義し、その活動の目的・対象・特徴を説明することができる。			NS(1)、(4)		
③ ヘルスプロモーションの概念を習得し、この考え方や背景を説明することができる。			NS(3)		
④ 公衆衛生看護活動に必要な看護援助技術を習得し、実践事例を用いて、その技術・意図を説明できる。			NS(2)、(5)		
⑤ 保健医療福祉サービスの中で機能する看護専門職の役割を説明することができる。			NS(1)、(2)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	公衆衛生看護となにかⅠ 公衆衛生看護の対象、領域、目的	対面授業	これまで学習した看護の対象、目的について考えてくる。 講義の内容を整理する。		2
2	公衆衛生看護となにかⅡ 地域生活集団の理解と公衆衛生看護の活動	対面授業	教科書を読む。資料を基に、自分がこれまで受けてきた保健医療福祉サービスを書き出す。		4
3	公衆衛生看護の歴史	対面授業	我が国の現代史(特に第2次世界大戦から)について復習しておく。 講義の内容を整理する。		4
4	公衆衛生看護活動に必要な理論 ヘルスプロモーションの概念	対面授業	ヘルスプロモーションについて調べる。 講義の内容を整理する。		4
5	ヘルスケアシステムの中で機能する看護	対面授業	自分の出身地について人口や面積、医療・福祉・保健・施設・労働の場等を調べる。 大学周辺の医療・福祉・保健施設等を調べる。		4
6	公衆衛生看護活動に必要な援助技術の特徴	対面授業	教科書を読む。 講義の内容を整理する。		4
7	家族を単位とした相談援助	対面授業	配付事例を熟読する。 活動事例から公衆衛生看護活動の特徴を抽出する。		4
8	地域ケア体制づくり	対面授業	地域ケア体制について、まとめる。		4
試	定期試験				

[専門教育科目/公衆衛生看護学]

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		60	20	0	10	10	100
総合力指標	知識・技術力	20	0	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	20	0	0	0	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	10	10	20
問題を発見・解決する力		20	0	0	0	0	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	筆記試験を行う。基本的な知識と公衆衛生看護に関する考えについて問う。				メールで回答の解説を送付する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
レポート	①	✓	課題に対して適切に回答できる。				レポートは後日コメントして返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①	✓	課題に対して、適切に回答ができる。				レポートと一緒に後日コメントして返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
その他	①	✓	出席日数と日々の受講態度、グループで行う演習等を総合的に評価する。				問題が生じた場合は、個別に面接を行う。
	②						
	③						
	④						
	⑤						
備 考							
担当教員：◎山崎 洋子、伊丹 幸子 教員の実務経験 ：保健師として保健所、市町村に10年勤務、また大学院の医療連携室での退院調整や療養生活相談等に勤務 実践的授業の内容 ：保健所・市町村における行政保健師活動および訪問看護活動、さらに大学院の医療連携室での退院調整や療養生活相談等の実務経験を元にして、内容を構築し、公衆衛生看護について理解を深める。教員の経験からさまざまな事例を取り上げ、教科書と比較しながら学習する。 <ul style="list-style-type: none"> ・毎回講義に出席し、積極的な態度で授業に臨むことを重んじる。原則として理由のない欠席はしないよう心がけること。 ・学生の理解度に応じ、講義の速度や順番を調整する可能性がある。 ・大学から示されている感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加は認めない。 ・Teamsを使った同双方向型授業を実施する可能性もあるため、通信容量無制限のWifi環境を推奨する。 ・今後、新型コロナウイルス感染症の状況により、シラバス内容が一部変更となる可能性がある。 							